

◆2018年度のサンタモニカ派遣中学生の様子レポート

今年度も無事に終了しました。12名の生徒と引率者4名が8月7日～16日にかけて10日間サンタモニカ市を訪問し、交流パーティや夏期講習サイエンスマグネットに参加するなど、JAMS中学校の生徒たちとの交流を深めました。

派遣生は、帰国後も木津川市市長報告をはじめ、市民報告会、木の津まつりへのブース出展、少年の主張大会への参加等、様々な機会を通じて、体験発表を行いました。



11月3日「木津川市少年の主張大会」



11月11日「木の津まつり」出展

創刊号『JAMS ジャーナル』で紹介されました！

2017年の引率者として木津川市に来られた Jener 先生から、JAMSの生徒たちによる学校新聞『JAMS JOURNAL』が創刊されたことのお知らせが届きました。記念すべき創刊号には、昨年派遣生としてサンタモニカ市を訪問した香西 琉衣さんと JAMS の生徒の様子を紹介する記事がありました。一部抜粋してご紹介します。派遣生は、滞在中どのように過ごしているのでしょうか。言葉が通じなくても工夫しながらコミュニケーションをとる派遣生とホストファミリーの様子が目に浮かびます。



“AMERICAN LIFE - Japanese exchange student experiences JAMS kid' s lifestyle” By NOAH ZUCKER

Rui is a 13-year-old exchange student from Japan who was with the Friendship Cities program for two weeks. Two of the days he was in California, he spent them with one of our very own eighth grader, Spencer Kagan. They went biking on the famous Santa Monica beach path and enjoyed seeing muscle beach, climbing the ropes, and swimming in the Ocean. Spencer also brought Rui to experience the JAMS eighth grade Science Magnet Camp that went to the Science Center. Rui did not know English well so they communicated through Google Translate. “I lucked out. Translation apps have gotten so good. Otherwise this would’ ve been a nightmare.” said Spencer.

(訳)「アメリカンライフ - 日本人交換留学生在が JAMS 生徒の生活を体験」 ノア ザッカー記



琉衣は日本の友好都市から、2週間の中学生海外派遣事業で来た13歳の交換留学生です。カリフォルニア州滞在中の2日間を JAMS 中学校2年生のスパンサー ケーガンと過ごしました。有名なサンタモニカビーチのサイクリングロードを走って活気に満ちたビーチを満喫し、ロープ登りや太平洋で泳いで楽しく過ごしました。スパンサーは琉衣を学校のサイエンスマグネット夏季講習にも連れて行きました。琉衣は英語が流暢でなかったため、“グーグル翻訳”を通して会話を行いました。運よく手に入れた翻訳アプリは本当に良かった。でなければ大変なことになっていたよ。

